

刃渡り沢は雪が少なく最高の条件！？

南アルプス 尾白川下流域 IC

尾白川林道は、日向山登山口の少し手前に冬季ゲートがあり、少し戻った路肩に車を停める。竹宇駒ヶ岳神社から登る人も居るようだが、こちらからの方がアプローチは短い。40分ほどの林道歩きで、錦滝へ着く。今回のベースキャンプをここに張るが、雪が全くなく晩秋のような雰囲気である。ガンガノ沢の手前には小沢があり、パイプから水も取れるようになっており非常に快適な幕場であった。

初日は、一番近いガンガノ沢を登る予定だ。最後に尾白川下流域に来たのは10年以上前だろうか。高橋さんが元気で登っていた頃である。その当時は錦滝をトップロープで練習することが多かったが、今回の錦滝は氷結が悪くてシャーベット状で左側には大きな水流が流れている。無理すれば取付けられないこともなかったが危険なので、巻き道から上がりF2へ向かう。

F2は40m程度で立派だが、傾斜も緩くⅢ級程度。こちらも陽当たりが良いのでスカスカでプロテクションを取るのが難しい。下手な場所だと手で簡単に取れてしまう。落ち口は氷がザクザクでスクリュウが使えず、ランナウトして岩から最後は左の草付きから抜けた。

以前、私達はF2の上は何もないと思っていたのだが、かつてはシークレットエリアという名称で一部のみに登られていて、今ではガイドブックにも載せられている。今回は初めてこちらへも行ってみることにする。沢をしばらく進むと二俣となり左俣を登って行った右岸にかかるのがシークレットエリアである。沢は氷結していて小滝を登っていくのだが、慣れていない飯島君をロープで確保して登っていくので少々大変だった。

シークレットエリアは、暖冬の影響か氷の発達が悪かったが、日の当たらない向きであるため、氷の状態もよく、プロテクションが取れる程度には氷に厚みがある。なんとか登れそうだ。側壁に氷がへばりついているような感じで見映えはしなかったが、登った跡もあるので取付けてみる。スケール感はなかなかのもので、2ピッチ、75m位だろうか。

1ピッチ目の取付きがバーチカルで非常に硬い氷。10mほどで傾斜も緩み、2段目のテラスまでロープを伸ばしてピッチを切る。2ピッチ目は、右側から登ってトップロープにて1-2回登って楽しんだ。下降は残置スリングを使って、2回の懸垂となる。登ってきた沢を再び下降して、ベ

【日程】

2019年2月16日(土)
～2月17日(日)

【メンバー】

小暮(L)、笹川、飯島

【地形図】

長坂上条

【記】小暮



ガンガノ沢F2



シークレットエリアにて。
この右側の滝を登った。

ースキャンプに戻る。



シークレットエリア
側壁の1P目



シークレットエリア
2P目はトップロープ

翌日は、一番奥の刃渡り沢へと向かう。私はまだ行ったことなかったもので、少々楽しみである。平田ルンゼ、岩間ルンゼを確認しながら林道を終点まで歩く。林道終点に近づくと、尾白川を挟んで対岸に刃渡り沢の氷瀑がはっきりと見えた。正面から見るとスケール感がすごく、飯島君は圧倒されている様子だ。林道終点からは、尾白川へ急

斜面を下降する。下降は非常に急になっているのでアイゼンを付けて、設置されているロープを掴んでおりていく。崩壊斜面を過ぎると、沢床へ。踏み跡に従って、渡渉をして右岸から下流に少し戻ると刃渡り沢出合につく。そのまま左岸の斜面を上がっていくと、ナメ滝の下に出た。

今年は、雪が少なかったせいか、沢は氷床に覆われていて、なかなか素晴らしい。ここからクライミングの準備である。Ⅲ級程度のナメ滝をロープを引いて登っていき、飯島君を確保する。その先はスケールの大きな幅広のナメ滝である。ロープスケールで40m程の立派な滝である。傾斜は緩いので、すいすいロープを伸ばして登る。

ナメ滝を過ぎると、刃渡り沢の代名詞ともいえる双翼の滝だ。右の翼はかろうじて地面に到達してはいるが、氷柱は非常に細い。左のバーチカルから登る。Ⅴ級くらいだろうか。正面に見えているよりも長さがあり、翼を抜けた先は緩傾斜の斜面となって20mくらいロープを伸ばしたところが終了点だった。リードフォローで登った先には岩壁に囲まれた大滝がある・・・らしいのだが、今年は氷結が悪いようで、正面の滝は落ち口が繋がっておらず、左奥の窪状は無理すれば登れるかもしれないが、氷が薄くて微妙なので、大滝は諦めて戻ることにする。

少々遊ぶ時間はあるだろうということで、懸垂下降の途中にスクリュウで支点を構築してトッ



刃渡り沢 ナメ床が良い



40m 幅広ナメ滝



双翼の滝が立派

ロープをすることにした。トップロープでは、振られ止めの支点をとって、右側の氷柱にもトライしてみたが、なかなかの難易度で、リードしたらVI級間違いなし。

あまり遊んでいると、日が暮れてしまいそうなので、1-2回登って終了とする。改めて灌木まで上がって懸垂下降とする。今回は双翼の滝の下も、氷床となっていて危ないので、そのままロープいっぱい伸ばして、灌木からもう一度懸垂下降してナメ滝下の取付きまで一気に下降した。あとは、トレース、林道に戻ってベースキャンプへと戻った。今回、雪がす

くなかったためか、岩場の中に氷床が続く、素晴らしいロケーションの中でのアイスクライミングを堪能できた。また、凍った沢を遡下降するアルパインアイスの雰囲気飯島君も十分堪能できたことと思う。



双翼の滝左を登る



TRで右の氷柱

【行程】

2/16 尾白川林道冬季ゲート(7:15)～錦滝周辺BC(7:55)～ガンガノ沢F2(9:15/10:00)～シークレットエリア 1P(10:30)～2P(12:00/13:20)～取付き(14:30/55)～BC(16:15)

2/17 BC(6:15)～林道終点(7:00)～刃渡り沢ナメ滝(7:50/8:30)～双翼の滝(9:45/13:00)～ナメ滝下(14:05/20)～林道終点(15:10)～BC(15:55/16:30)～ゲート(17:00)